



佐藤 久成 (さとう ひさや)

東京藝術大学附属音楽高校を経て、東京藝術大学卒業後渡欧。ロームMF奨学生や特別奨学生として、ザールラント音楽大学、ブリュッセル音楽院、スタウファー音楽院、ベルリン芸術大学で研鑽を積む。日本演奏連盟賞受賞。リッチ、ルガーノ、ルイス・シガル、ベオグラード、ヴィオッティ等の国際コンクールで優勝、入賞。1994年、ベルリン交響楽団定期公演のソリストとしてヨーロッパデビュー。ベルリン響、ベオグラードフィル、ルーマニア国立響、ベルリン室内管、サンティアゴ響などと共演。ドイツ公共放送、ラジオフランス、イタリア放送、NHKにソリストとして出演。また、ピアノトリオを組みドイツ各地で公演を行う傍ら、アジア、中近東、オセアニア、アメリカに演奏旅行

するなど、その演奏活動はソロに留まることなく幅広い。ライフワークとして、数万曲に及ぶ数々の未知の絶版楽譜を世界中で収集、それらの知られざる作曲家や忘れられた作品の発掘に力を注ぎ、紹介・初演・レコーディングを積極的に行う。2002年、カザルスホールにてデビューリサイタル、以降、毎年、東京でリサイタルを開催。音楽の友誌にて「年間コンサートベストテン」に選出されている。ワインガルトナーのソナタ集や伊福部昭の協奏曲集をはじめとするCDを発表、各メディアや書籍への執筆活動も精力的に行い、2010年「哀傷のラメント」「トリスタンとイゾルデ」、2012年「ニーベルングの指輪」「オード・エロティック」、2013年「魔界のヴァイオリン」、2014年「エヴォカシオン」、2015年「魔界のヴァイオリンII」、2016年「魔弓のレジェンド」、2018年「誘惑のヴァイオリン モーツァルト ソナタ集」を続々とリリース。その多くのCDがレコード芸術誌「特選盤」に選出。各誌、各新聞紙上で高い評価を得る。日本経済新聞朝刊文化欄に「よみがえれ埋もれた名曲」の見出しで独自の活動が取り上げられ大きな反響を呼び、産経新聞モーストリー・クラシック誌「最新格付け！世界の名ヴァイオリニスト」総合ランキングと現役ランキングの両方に選ばれた。2015年、大阪フィル、仙台フィルと共演し、チャイコフスキーのヴァイオリン協奏曲のライブCDをリリース。2016年、群馬交響楽団と定期演奏会にて共演。2018年にはサントリーホール大ホールにてリサイタルを行う。2024年は5月9日と12月12日に東京文化会館小ホールでリサイタルが予定されている。

桐榮 哲也 (とうえい てつや)

桐朋学園大学、ベルリン芸術大学卒業。パリ・エコールノルマル音楽院にて高等演奏課程のディプロムを審査員の満場一致で取得後、同音楽院のコンサーティスト課程にて研鑽を積む。ナレンチュフインターナショナルフェスティバルコンクール3位(ポーランド)、アグロポリ国際ピアノコンクール4位(イタリア)ほか国内外のコンクールで入賞を重ねる。これまでにルーマニア国立ディヌ・リパッティ交響楽団、ポーランド国立ルブリン室内楽管弦楽団、ワルシャワフィルハーモニー弦楽四重奏団らと共演。「都民芸術フェスティバル2018」にて東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団と東京芸術劇場にてラフマニノフピアノ協奏曲第2番を共演。「音楽の友」「ムジカノーヴァ」「音楽現代」「ミュージック・ペンクラブ」などに批評が掲載される。これまでに「リスト：ピアノソナタ×シューマン：幻想曲」、「ブラームス後期作品集-117118119-」をCDリリース。日本演奏連盟会員、演奏年鑑掲載ピアニスト、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。TOEIMUSIC SCHOOL、東京都立総合芸術高校音楽科にて後進の指導にあたる。



会場にてCDを販売します！

佐藤久成の多数の名盤の中から厳選しました。この機会にぜひお買い求め下さい。



魔界のヴァイオリン



誘惑のヴァイオリン



TRISTAN UND ISOLDE



オード・エロティック